



被災者の心理状態を理解した対応が被害を最小にする 徳洲会の一人ひとりが、災害時のエキスパートになろう



徳田 虎雄
一般社団法人徳洲会代表者最高顧問
医療法人徳洲会理事長



野末 睦
庄内余目病院院長

3月11日に発生した東日本大震災。地震もさることながら、それによって引き起こされた津波、さらに津波が招いた原発事故、これら残念で悲しい出来事の連続の中に、2つの素晴らしいニュースがありました。

一つ目は「津波なんてここまて来るわけがない」と周囲に言われながら、約10年がかりで岩山に避難所を造った男性の話です。朝日新聞によれば、その男性は、700人以上が亡くなった宮城県東松島市の近くに住む土地所有者の佐藤善文さん。10年ほど前から退職金をつぎ込み、「避難場所は家からすぐの場所なくては」と言って造った、「佐藤山」と住民に呼ばれている避難所が約70人の命を救ったのです。

高さ30mほどの岩山に階段が彫られ、登り口には「災害避難所（津波）」と書かれた看板を設置。お年寄りでも上れるように段差は低く、手すりもつけられました。頂上には8畳の小屋とあずま屋があります。海を見渡す展望台も造られていました。避難した人たちは、「ここに大きな津波は来ないよ」と佐藤さんの作業を半ば笑って見ていたけど、先見の明があった」と感謝しているそうです。

二つ目は、岩手県大船渡市の海沿いにある越喜来小学校に、津波から逃れる時間を短縮するための非常通路をつけるよう提案し続けていた市議会議員の話

です。念願の通路は、昨年12月に完成しました。その市議・平田武さんは、残念ながら大震災の9日前に病気で亡くなりましたが、津波にのまれた小学校の児童はその通路を通って避難し、助かったというものです。地震が発生した直後、71人の児童は非常通路から崖の上に出て、すぐに高台に向かうことができたそうです。その後押し寄せた津波によって、長さ約10m、幅約1.5mの非常通路は壊され、瓦礫に覆い尽くされたといいます。

平田さんは数年前から「津波が来たとき、子どもが学校の1階に下りていたら間に合わない。2階から直接道に出たほうが早い」と話し始めたそうです。それを証明するように、同校の遠藤耕生副校長は「地震発生から津波が来るまではあつという間だった。非常通路のおかげで、児童の避難時間が大幅に短縮された」と話しています。

原発のように、大企業が危険を予測できずに大きな事故を起こしてしまっている一方、得られる情報を的確に判断して実行した、この2人のような方がいるのです。私たちは、今回の大震災から多くを学んで実行していかなければなりません。では、どんなことができるのでしょうか？ 私はまず、「災害

の心理学」を身につける必要があると感じています。災害のとき、人々が逃げ遅れる心理的要因がいくつかあります。代表的なものが「正常性バイアス」と「多数派同調バイアス」です。「正常性バイアス」とは、ある範囲までの異常を異常だと感じずに、正常の範囲内として処理してしまうことです。「多数派同調バイアス」は、周りの人が避難するまで避難行動を取らないというバイアスです。たとえば火事するとき、非常ベルで逃げ出すのは一人で部屋にいた人。多人数でいる場合は周りの様子うかがいが、自分だけが行動するのはおかしいと思ってしまう遅れしてしまうのです。

そして私たちが特に意識しなければならぬのは「パニック神話」です。これは大勢の人がいる状況の中で、火災などの情報を流すと皆がパニックになってしまうので、伝えるときはオブラートに包み、さらには過小に伝えたほうが良いという神話です。しかし、これは明らかに間違っていることがわかってきています。パニックは、ほとんど起こりません。むしろ前記のようなバイアスがかかるので、多くの人は逃げないか、様子うかがいながらゆっくりと行動することが判明しています。

さらには、「エキスパートエラー」というものも存在します。これは、災害時に避難を誘導するべき立場の人が陥りがちなものです。判断を誤ったり、パニック神話にとらわれてしまったり、「詳しい様子がわかるまで落ち着いて待つていくべき」という間違っ指示を出して、それが人々の逃げ遅れる原因になってしまうのです。

災害時に特有の、避けるべき心理状態を知った後で、今回の大津波警報後の被災者の行動を振り返るのはつらいことです。もし、あらかじめ知っていたら、何人の方が助かっていたことでしょう。もちろん被害にあわれた人々や、懸命に職務を履行しようとした人々を責める気持ちはまったくありません。今私たちができること、しなければいけないことは、これらを学びこからの災害に備えることです。

万が一、病院で火災が発生したときは「小さな火災が発生しました。念のため避難してください」というようなアナウンスではなく、「火事です。ただちに避難してください」と伝えるべきです。もしもデパートで火災報知器が鳴ったら、周りの人が落ち着いていても、ただちに逃げることです。生き延びたその直後には、最も身近で強力な救済者になり、すぐ隣にいる家族、友人、隣人を救うのです。

そのためには「正常性バイアス」「多数派同調バイアス」を知り、それらを避けて生き延び、ささいな「パニック神話」を捨て、バイアスに取りつかれた人々を覚醒させ、適切な避難誘導をしなければなりません。私たち一人ひとりが災害時のエキスパートになることが、とても大切だと思います。こうしたことができるヒーローの一人ひとりが、新しい日本をつくる礎になるはず。それは皆さんであり、私でもあるのです。皆で学び、考え、備え、そして頑張りましょう。

「上手に使う！介護保険～手続きから利用の仕方まで」
介護支援専門員 中野千春
6月23日(木) 午後3時～(日の丸会館1階 ホール)
【知っておきたい！白内障のこと】眼科医 西條裕正
6月24日(金) 午後2時～(東区民センター3階 ヤング)

【“がん”といわれてあわてないために】看護師長 小野寺由香
6月22日(水) 午後2時～(塚塚・美しが丘地区センター)

【介護について】介護支援相談員副主任 久保明
6月21日(火) 午後2時～(共栄コミュニティーセンター)

【共愛会病院】お問い合わせ 地域連携室 TEL 0138-51-2111
【もの忘れ予防～首のことはよく覚えておいて、最近の事は…!】
内科医 石井敏明
6月21日(火) 午後2時～(堀川町会館)

【静仁会 静内病院】お問い合わせ 総務課 TEL 0146-42-0701
【MRI 検査でわかること】放射線技師 坂本和繁
6月16日(木) 午後2時～(中野町 生活改善センター)
【介護予防～運動療法の役割】介護福祉士 安藤祐輔
6月23日(木) 午後2時～(清水丘生活センター)
【すこやかな老後をすごすために】院長 井齋齊矢
6月24日(金) 午後2時～(新冠 おうるの郷)

【山形徳洲会病院】お問い合わせ 地域医療部 TEL 023-647-3434 (代表)
【正しいお薬の飲み方】薬剤部 太田香
6月24日(金) 午後1時30分～(大曾根さわやか荘)

【新庄徳洲会病院】お問い合わせ 地域医療連携室 TEL 0233-23-3434
【心肺蘇生(AED)の方法】救急救命士 渡部佳祐
6月21日(火) 午後3時～(最上町立赤倉小学校)
【血圧と体脂肪】地域連携室
6月22日(水) 午前10時～(ヤマザワ新庄店1階 フロアー)

【庄内余目病院】お問い合わせ 企画課 TEL 0234-43-3434 (内線352)
【血圧と心臓のお話】副院長 寺田康
6月23日(木) 午後6時30分～(鶴岡市 苗津公民館)

【山北徳洲会病院】お問い合わせ 地域活動部 TEL 0254-60-5555
【血糖値について】検査技師 石田芳幸
6月15日(水) 午後2時～(塔下公民館)
【内視鏡検査でわかること】臨床工学技士 金子沙織
6月20日(月) 午後2時～(関川しな織センター)

公開医療講座 入場無料 申込不要

掲載分以外にも多数の講座を開催しています。内容が変更される場合もあります。各病院までお問い合わせください。

北海道ブロック

札幌徳洲会病院 お問い合わせ 地域広報室 TEL 011-851-1110 (内線1149)
【一緒にウォーキングしましょう!】院長(整形外科部長) 森利光
6月19日(日) 午前8時～(白石サイクリングロード [病院出発])
【食事で健康! がんを予防する食事】栄養室室長 山元美恵子
6月21日(火) 午後2時～(月寒公民館)
【知っておきたい薬の知識! ~高血圧と薬のお話】薬剤師 石田博行
6月21日(火) 午後3時～(月寒公民館)
【在宅医療室って何するところ?】看護副主任 藤原めぐみ
6月22日(水) 午後2時～(青葉会館)
【エコー検査でわかること~肝臓・胆嚢・心臓・甲状腺・乳腺等】
臨床検査技師 田村純
6月22日(水) 午後3時～(青葉会館)
【子宮がん検診とワクチン】看護主任 澤田和美
6月23日(木) 午後2時～(原始林会館)
【明るい老後のためのママ知識③こんなときこんな病院~救急から療養まで】
ソーシャルワーカー 長谷川恵子
6月23日(木) 午後3時～(原始林会館)

札幌東徳洲会病院

お問い合わせ 地域広報室 TEL 011-722-1110 (代表)
【虫歯だけじゃない! お口の中のこわい病気~口内炎・口腔がんなど】
歯科口腔外科部長 西方聡
6月20日(月) 午後2時～(東区民センター3階 講義室)
【知って得する! 薬のリスク~クスリとサプリメントの話】
副室長 武田契巳
6月20日(月) 午後3時～(東区民センター3階 講義室)
【知っておこう! データの読み方~血液検査でわかること】
臨床検査技師主任 秋谷学
6月21日(火) 午後2時～(北区民センター1階 会議室)
【医療費について~そんをしないために】
経営企画部課長補佐 相澤るみ子
6月21日(火) 午後3時～(北区民センター1階 会議室)
【骨粗しょう症~骨を丈夫に保つために】診療放射線技師長 新城浩二
6月22日(水) 午後2時～(東区民センター3階 講義室)
【あなたの薬の相性は? ~市販薬・漢方薬・健康食品との飲み合わせ】
薬剤主任 小笠原英樹
6月23日(木) 午後2時～(日の丸会館1階 ホール)

東北ブロック

山形徳洲会病院 お問い合わせ 地域医療部 TEL 023-647-3434 (代表)
【正しいお薬の飲み方】薬剤部 太田香
6月24日(金) 午後1時30分～(大曾根さわやか荘)

新庄徳洲会病院 お問い合わせ 地域医療連携室 TEL 0233-23-3434
【心肺蘇生(AED)の方法】救急救命士 渡部佳祐
6月21日(火) 午後3時～(最上町立赤倉小学校)
【血圧と体脂肪】地域連携室
6月22日(水) 午前10時～(ヤマザワ新庄店1階 フロアー)

庄内余目病院 お問い合わせ 企画課 TEL 0234-43-3434 (内線352)
【血圧と心臓のお話】副院長 寺田康
6月23日(木) 午後6時30分～(鶴岡市 苗津公民館)

山北徳洲会病院 お問い合わせ 地域活動部 TEL 0254-60-5555
【血糖値について】検査技師 石田芳幸
6月15日(水) 午後2時～(塔下公民館)
【内視鏡検査でわかること】臨床工学技士 金子沙織
6月20日(月) 午後2時～(関川しな織センター)

北関東ブロック

羽生総合病院 お問い合わせ 地域医療事業部 TEL 048-562-3021
【口腔ケアと8020について】歯科口腔外科部長 福永秀一
6月18日(土) 午後1時30分～(羽生市 新郷公民館)
【タバコの害と健康】医療安全管理者 小野幸夫
6月22日(水) 午後3時15分～(羽生市 新郷公民館)

千葉徳洲会病院 お問い合わせ 地域サービス室 TEL 047-456-3010
【胸部・腹部大動脈瘤について~最新の治療を混ぜながら】
心臓血管外科医 小林美里
6月23日(木) 午後2時～(七林自治会館)

千葉西総合病院 お問い合わせ 広報室 TEL 047-384-8229 (直通)
【新しい脳梗塞の予防について】院長(心臓センター長) 三角和雄
6月16日(木) 午前10時～(市川市文化会館 ホール)
【消化器がん手術の限界に挑戦する】消化器外科部長 高濱龍彦
6月17日(金) 午後2時30分～(曾谷公民館 第3研修室)
【日本初の256列不整脈対応型心臓CT】院長(心臓センター長) 三角和雄
6月23日(木) 午前10時～(小金原市民センター ホール)

四街道徳洲会病院 お問い合わせ 総務課 地域医療 TEL 043-214-0111
【高血圧と食事】管理栄養士 吉田桃子
6月20日(月) 午後3時～(当院1階 フロア)
【インプラントと咀嚼】歯科口腔外科部長 松本浩一
6月21日(火) 午後3時～(当院1階 フロア)
【高血圧による臓器障害(脳・腎)】保健師 中山良子
6月22日(水) 午後3時～(千代田台公民館 視聴覚室)
【高齢者の腰の病気について】医師 古閑比佐志
6月22日(水) 午後4時～(千代田台公民館 視聴覚室)
【胆石と日帰り手術】副院長 黒木則光
6月23日(木) 午後3時～(当院1階 フロア)

南関東ブロック

湘南鎌倉総合病院 お問い合わせ 広報室 TEL 0467-46-1717 (代表)
【知って得する放射線検査】放射線技師長 関根聡
6月20日(月) 午後1時30分～
(男女共同参画センター横浜3階 会議室3)
【高血圧治療に悩みはありませんか? ~副腎腫瘍のお話】
IVRセンター(放射線科部長) 柴山俊毅
6月20日(月) 午後3時～
(男女共同参画センター横浜3階 会議室3)
【ストーマ(人工肛門)のおはなし~正しい知識とケアで快適な生活を】
皮膚・排泄ケア認定看護師主任 望月利絵
6月20日(月) 午後3時～(藤沢産業センター8階 第3会議室)
【ジェネリック医薬品を正しく理解していただくために】
薬剤部治験担当薬剤師 清水悦子